



BB Limited (NT)



AKIRA OKAZAWA with BB Limited(CW)

パッシブベースが目指していた境地。

BB LIMITED/LIMITED5

ビンテージ・モデルのサウンドを徹底的に研究し、それを超えるための正攻法を積み重ねて、パッシブ4弦の新境地を提示したBB Limited。「鳴り・響き」を極めるため、Warmoth社との協力体制のもと、アルダーボディ+メイプルネックというもともとオーソドックスなコンストラクションを洗練。最上の材と緻密な加工により、質感にあふれた鳴りを実現しました。ピックアップは、ビンテージだけが持つサウンドテイストを追求した専用設計のJタイプ。材の音響特性を最大限に引き出すラッカーフィニッシュから、弦振動を無駄なくボディに伝えるブリッジ、ビンテージ・モデルのサウンドとブレイファイナルを忠実に再現する逆巻ベグまで、すべてのエレメントがこだわりの集大成です。そして、プロフェッショナル達からの高まる評価と期待に応え、Limitedのクオリティを5弦ベースに展開したのがLimited 5。Low-B1に対応し位置を設定した新設計ピックアップなど、5弦ベースとしての完成度をBB Limitedレベルで追求した特製のパッシブ5弦です。

BB Limited (BB LTD) ¥185,000(税抜き) with SPECIAL SOFTCASE

BODY:Alder by Warmoth NECK:Maple/Bolt on by Warmoth FINGERBOARD:Rosewood 21F(254R) BRIDGE:BB-III-NX PICKUPS:YBJ-A51N(AlnicoV)×1, YBJ-A51B(AlnicoV)×1 CONTROLS:Front Volume, Rear Volume, Master Tone SCALE:383.6mm HARDWARE:Nickel FINISH:CW(クリームホワイト)・NT(ナチュラル) TOP COAT:Laquer

BB Limited 5 (BB LTD5) ¥200,000(税抜き) with SPECIAL SOFTCASE

BODY:Alder by Warmoth NECK:Maple/Bolt on by Warmoth FINGERBOARD:Rosewood 21F(250~400R) BRIDGE:BB-III-NX5 PICKUPS:YBJ-A51N(AlnicoV)×1, YBJ-A51B(AlnicoV)×1 CONTROLS:Front Volume, Rear Volume, Master Tone SCALE:383.6mm HARDWARE:Nickel FINISH:BL(ブラック)・NT(ナチュラル) TOP COAT:Laquer



Special Advisers for Limited

BB Limitedの完成度は、さまざまなジャンルのアーティストによる試奏評価を繰り返すことで、パッシブベースの新境地を拓く領域へと高められました。プロダクト・アドバイザーの誰もが、サウンドだけでなく、音響特性や数値を超えた微妙な感覚まで「プロが仕事で使うレベル」をクリアしたと証言しています。

【岡沢 章】 開発に参加したのは3年ぐらい前ですね。要求したのは、とにかくオールドベースで「鳴る」といわれるものを徹底的に研究して、鳴る要素だけで割ってほしいということです。ボディに弦の振動がいちばん伝わるような、その振動を自分の体で受け止められるような、そんなシンプルな楽器にして欲しかったんです。いま、スタジオやライブでBBを使っていますよとも幅広くクリアで、存在感があり、そのうえガッツのある音なんです。弾き込んでいて、弾き手のクセなんかかきミックスされると、どんどん素晴らしい楽器になるでしょうね。

【柿沼 清史/STARDUST REVUE】 単体で弾いていい音がするベースは沢山ある。しかし、バンド・アンサンブルの中でベースの音が埋もれず、他の楽器や歌ともぶつからないバランスのとれたベースは少ない。今は、BBをレコーディングでも、ライブでも、メインベースとして使っています。

【六川 正彦】 レコーディング及びライブで活躍しているBBは、オールドベースのテイストを残しつつ、腰のある中・低音の締まりが存在感を持っており、エンジニアの評価も高い楽器です。

【河合 徹三】 ダイトミックスレンジの広い音が要求されるライブ・レコーディングでは、オールラウンドに対応するBBがしっかりフィットしています。繊細な曲では特に映えます。

【満園 庄太郎/BOW WOW】 このベースにはなんの飾りもない、だが限りなく可能性を秘めている。俺と一緒にいろいろを探していくんだ。



KIYOSHI KAKINUMA



MASAHIKO ROKUKAWA



TETSUZO KAWAI



SHOTARO MITSUZONO